

(表紙)

揖斐郡池田村大字池野市街成立書

明治三十六年取調分

發起人

差出候節ノ下

吉安勘左衛門

(本文)

揖斐郡池田村大字池野市街成立由来

一当地ハ従前池田野新田ト唱エ来リ候処、明治八年十月中

岐阜県庁ノ御許可ヲ得村名池野村ト改称ス、戸数

僅々四拾戸内外ニシテ農業一途ノ一小村落ニ明治八年

地租改正之地籍表民有反別三拾九町五反余歩之内

山林反別人町余歩ハ大凡字追分(右谷汲
左イビ)左揖斐街道ニ

沿ヒ、又之ニ接続シタル池田村大字六之井・本郷村大字青柳

両込ノ山林原野数拾町歩ニテ之ヲ旧池田長林ト称シ

鬱蒼タル森林狐狸ノ巢窟ナリシカ、予者荒蕪開拓

ナサント苦心スルコト歳久シテ、時明治十六年中道路改修

ノ挙アルニ当リテ爰安八郡大垣町共和組(呉服太物商ニテ
一社ヲ組織シ毎月

六会ツ、神戸町・
垂井町出店ヲ張モノニ謀リ明治十七年中字追分ニ市場開設シ

其筋工出願候処、幸ニ同月中認可ヲ得、依テ赤坂町・
揖斐町其他ノ大工職工ヲ数拾名召集シ、昼夜工事ニ
尽力シ、僅々十有余日ニ字追分南道路南側ニ長

三拾弍間宛ノ市小屋弍棟ヲ建築シ、之ヲ共和組へ貸与シ

三月十日ヲトシ開業ス

(該市場非常ニ繁榮シ、毎月六会ノ市日ニ
道路通行ノ障碍ニ相成候ニ付、同年八月ニ

至リ字街道中ニ移転ス、明治廿四年
大震災ニ付、毀壞現今尙棟トナル) 開業当日ノ景況共和組六拾

名出店ヲ張り、其他諸雜品七八拾名露店ヲ出シ、該

商人ヨリハ景品ヲ出シ、發起者ハ余興ニ投餅及酒ノ

酌吞ヲ開候ニ付、購求人及見物人等山ヲナシ、本郡前代

未曾ノ雜踏ヲ極ム、爾來追々繁榮ナルヨリ其當時

各邑各地ハ却而商業上不景氣ニテ、殊ニ大垣地方ハ

大洪水ニ遭遇シ為ニ該地ハ勿論其他ノ商家螺集シ、

日二月ニ移住者増殖セリ、然ニ土地所有者ハ未タ永

遠ノ見込無之由、森林之伐木ヲ嫌ヒ容易ニ宅地ニ

貸与セサル者往々有之、依而發起者へ五ヶ年・七ヶ年之

約定ヲ結ヒ、漸ク借り受ケ追々家屋建設ニ及ヒ候処、

世間一般ノ不景氣ニ引換、意外ニ当地ノ盛大ナルヨリ

各地ノ商人等市場開設ニ注目シ、同年七、八月ニ至リ

安八郡神戸町字飯田及揖斐町字下町・北方村字ダイヤ
等ニ新規市場ヲ開業之折節、種々余興ヲ催シ人氣
ヲ輓キ、又ハ近傍大字下東野村大工屋□□養基村大
字田中ノ辻等ニテモ市場ヲ催シ候得共、右ハ一ヶ所モ
繼續成立無之、然トモ夫力為メ一旦移住セシ商人等ノ
中、折々變心ヲ生シ資金貸与セシモ其俣打捨退去ノ
者モ不少ニ付、創業以來之消費金数千円ニ及ヘリ
ト雖モ実ニ返還ノ道ナク、実ニ困難仕候、尚又旧池田郡
ニハ警察署ノ設備無之、安八郡神戸分署より巡查一名
月二兩三回巡村而已ニテ不便不尠ニ付、明治十八年中神戸
分署ノ交番所ヲ出願候処、同年九月御許可ニ相成、依テ
字追分ニ於テ敷地反別式畝拾七步ヲ寄附シ、該工事實
ハ旧池田郡南部ノ有志義捐金ヲ募集シ新築落成
トシ、翌十九年十一月ニ至リ池野分署ト改正セリシ、現今ノ池田
分署ノ敷地構造則是ナリ、市街宅地ハ従前ハ山林
原野ニテ其周圍ハ池野・六ノ井・青柳・八幡村等ノ畑地ナルモ、
元來肥料ニ乏シク為ニ耕耘怠リ、過般荒地同様ニテ
年々收穫減少セリ、然ニ池野市街開墾以來ハ肥料等

充満ナルヨリ、自然耕耘行届キ、昔日ノ瘦地モ漸次肥地ニ
変シ、茶園桑園其他之諸作トモ年々収穫ヲ増加シ、
加之近郷近在之田畑ニ至ルマテ池野市街ノ肥料ヲ

相運ヒ候ニ付、地方一般ノ幸福枚挙ニ遑アラス、是則

明治十七年中創業ニ拠ノ外ナラス依テ概略記載候也、(以下略)